

お互いさま ひろお通信

「地域づくりから育つひろおの支え合い」

第6号 2019年8月



文化と人を結びつける懸け橋

渡った先に見えた人の繋がりが

『子供に挨拶や礼儀を教えた
い』、活動をしようになった
きっかけを話す女性。名前は**笹川美子**さん。笹川さんは茶道
や書道を教えています。

8月16日笹川さんは広尾高校
に向かいました。目的は高校で
開催される開放講座で笹川宗久
として茶道を教えるためです。

お辞儀の仕方や種類、襖の開
け方を学び、お茶をたてる時間
に入りました。参加者の方は
黙々とお茶をたてていました
が、最後笹川さんが仕上げると
「全然違う！」と感動されてい
ました。

翌日は書道家笹川秀華として
児童福祉会館に向かい、一文字
展を開催しました。まずは、**気
軽に立ち寄って**筆を握ってほし
いという気持ちから、図書館に
遊びに来た子供連れの親子に声
をかけ、自由に一文字書いても
らっていました。笹川さんは
「子育て中の親御さんは日本の
伝統的な文化に携わる機会が少
なくなっている。ゆえに、子供
もなかなか経験できない」と話
していました。参加した子供も
夢中になって筆で遊んでいる様
子が印象的でした。



さて、茶道に参加していた女性に今回参加した理由を聞いてみると、「転勤することが多く、昔やっていた茶道をやるうと思っても、**どこに行けば良いのかわからなかった**。今回たまたま知ったので参加してみようと思いました」と話されていました。『**きっかけ**』が人の心を動かし行動に移せるようになる。女性の話からはそういった心境の変化が伝わるのではないかと思います。加えて、笹川さんは茶道・書道の参加者に連絡先を聞いている場面がありました。この光景は次の『**きっかけ**』を作るための仕掛けづくりになっていたと思います。

笹川さんは自分の活動について、子供と親に自分の経験していることを伝えたい。伝えたいものを、次の世代に伝えてほしい。また、日本の文化を通して挨拶の大切さ、『**挨拶は宝**』というのを感じてほしいとの事。

笹川さんの活動は文化と人を結びつける懸け橋。懸け橋があるから、人は文化と触れ合うことができる。さらに、文化との触れ合いを通じて新しい人との繋がりが生まれ、

私も今回笹川さんが築く懸け橋を渡りましたが、人の繋がりを生むには何気ない『**きっかけ**』が必要だと思いました。

笹川さんの活動に育っていた実(意味)

